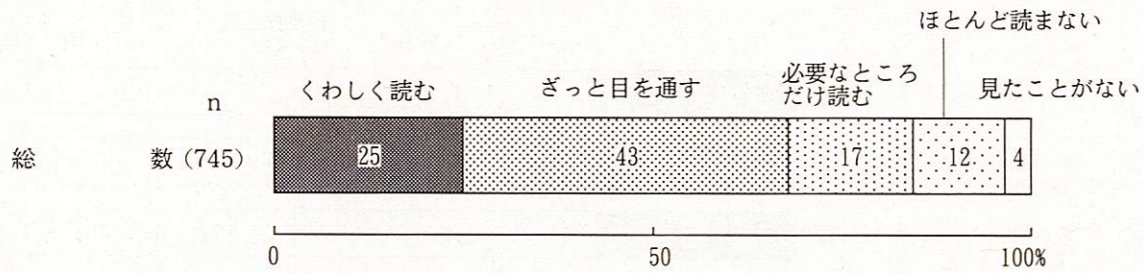


11. 広 報

11-1 『広報ふっさ』の閲読度

問24 【回答票】市では『広報ふっさ』を毎月1日、15日に発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。

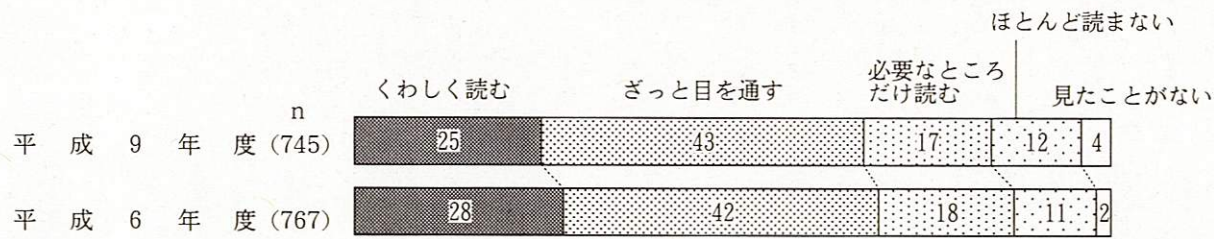
図11-1



『広報ふっさ』については「くわしく読む」と答えた人が25%で、これに「ざっと目を通す」(43%)と「必要なところだけ読む」(17%)を合わせると、85%の人が“読む”と答えている。

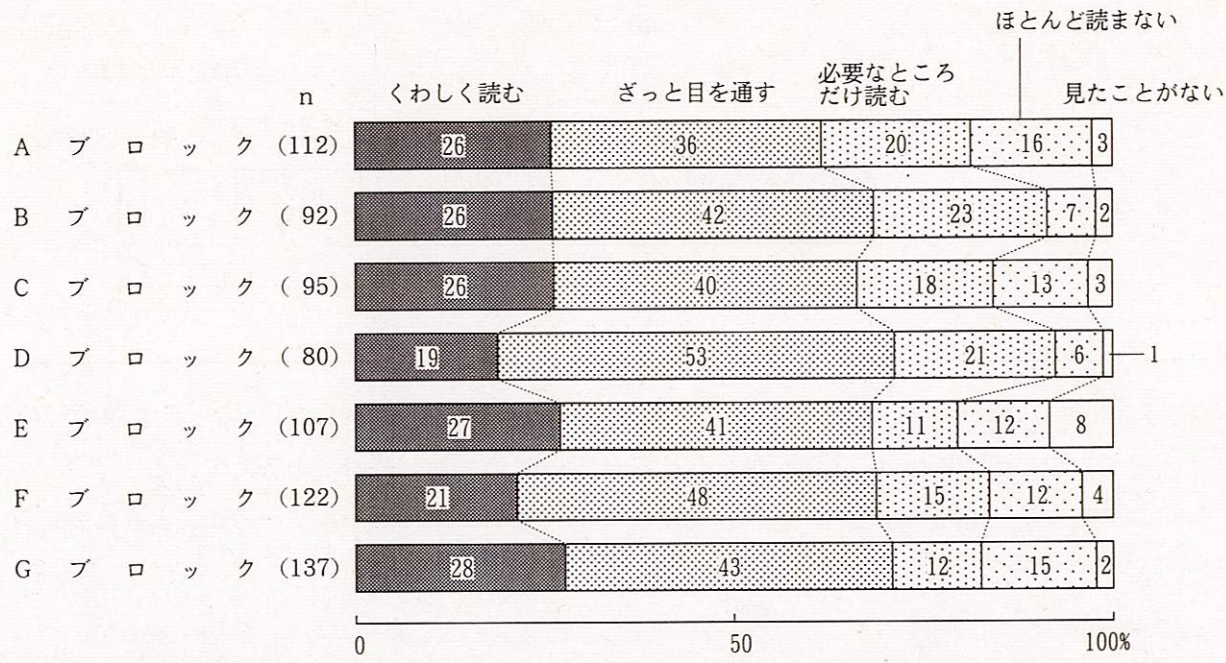
前回の調査結果と比較すると、「くわしく読む」と答えた人がやや減少しているが、大きな差はみられない。

図11-2 『広報ふっさ』の閲読度(時系列)



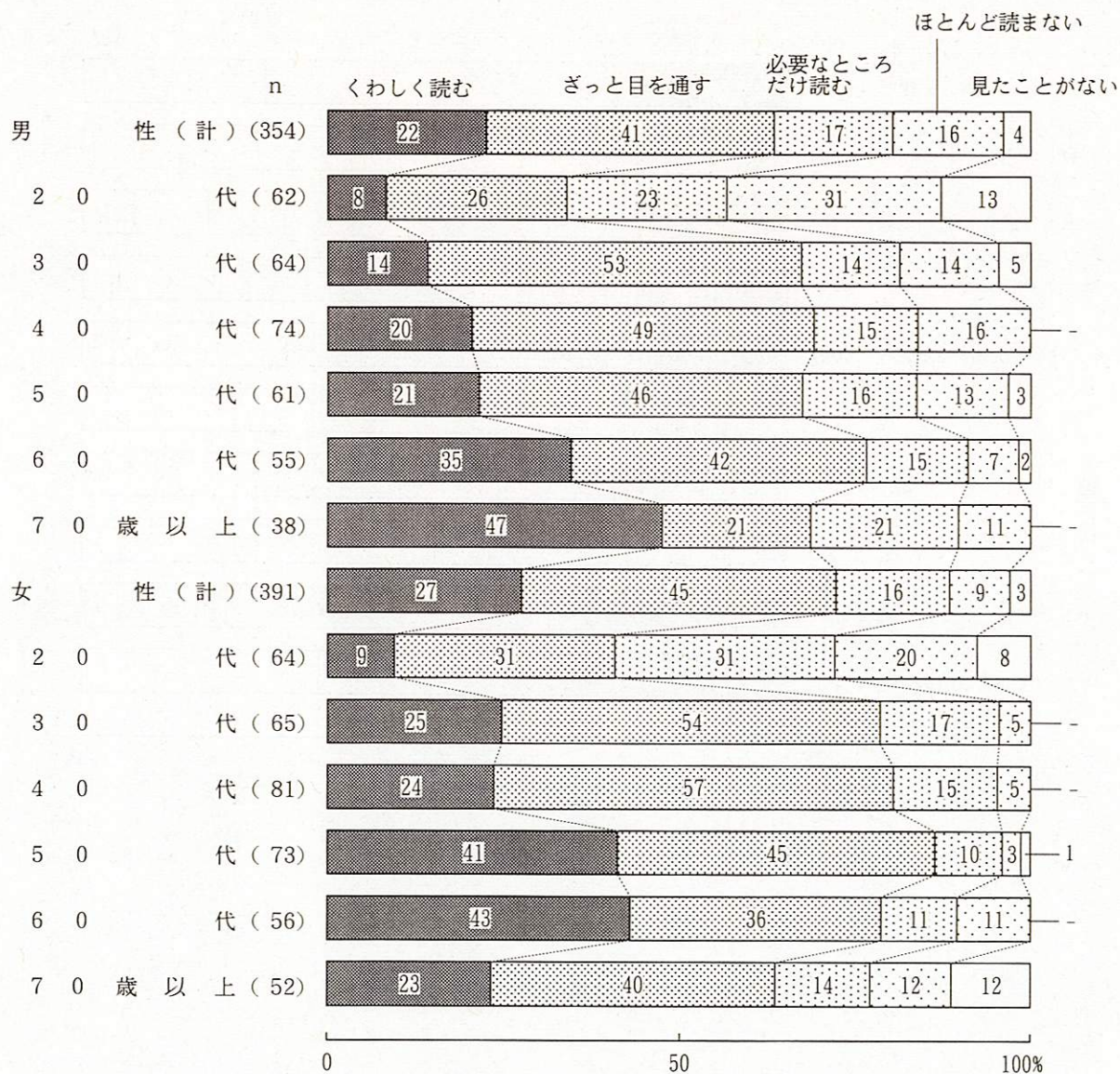
地域別でみると、“読む”人はBブロック及びDブロックにおいて9割を超え高くなっている。Eブロックが79%と他の地域よりやや低くなっているが、「くわしく読む」人の比率は他の地域より比較的高くなっている。

図 11-3 『広報ふっさ』の閲読度（地域別）



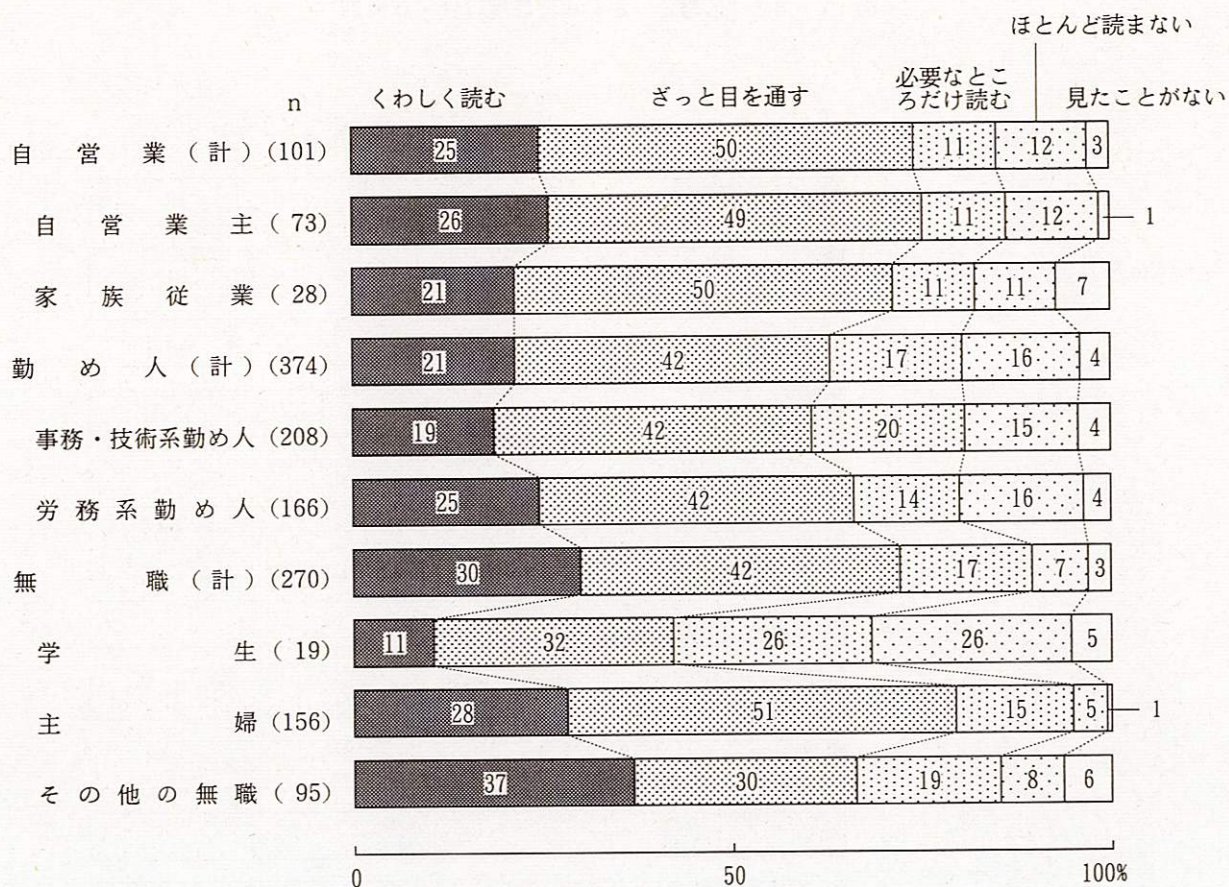
性・年代別でみると、「くわしく読む」人は男性の場合、20代で8%と1割を下回っているが、その後年代が上がるにつれて高くなる傾向があり、70歳以上では47%と半数近くを占めている。女性の場合も20代で最も低く、60代まではおおよそ年代が上がるにつれて高くなっているが、男性と違い70歳以上になると再び低くなっている。

図11-4 『広報ふっさ』の閲読度（性・年代別）



職業別でみると、「くわしく読む」人はその他の無職（37％）で4割弱を占めている。しかし、無職の中でも学生においては、「くわしく読む」が11％で“読む”でも69％と唯一7割未満となっており、“読まない”（31％）が他の職業と比較して最も高くなっている。

図 11-5 『広報ふっさ』の閲読度（職業別）

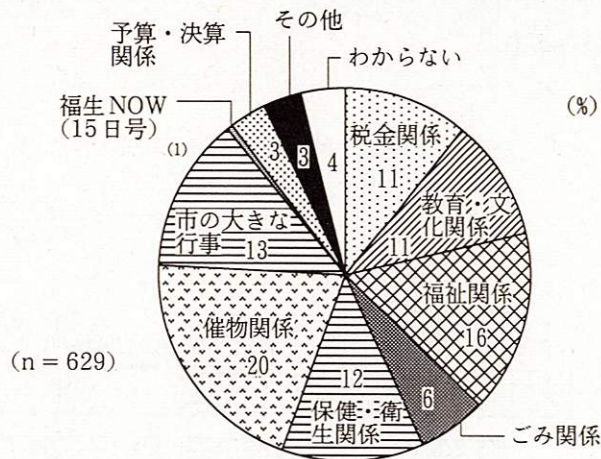


11-2 『広報ふっさ』で関心のある記事

(問24で「くわしく読む」「ざっと目を通す」「必要なところだけ読む」と答えた方に)

問24-1 【回答票】主にどのような内容に関心を持って読まれますか。

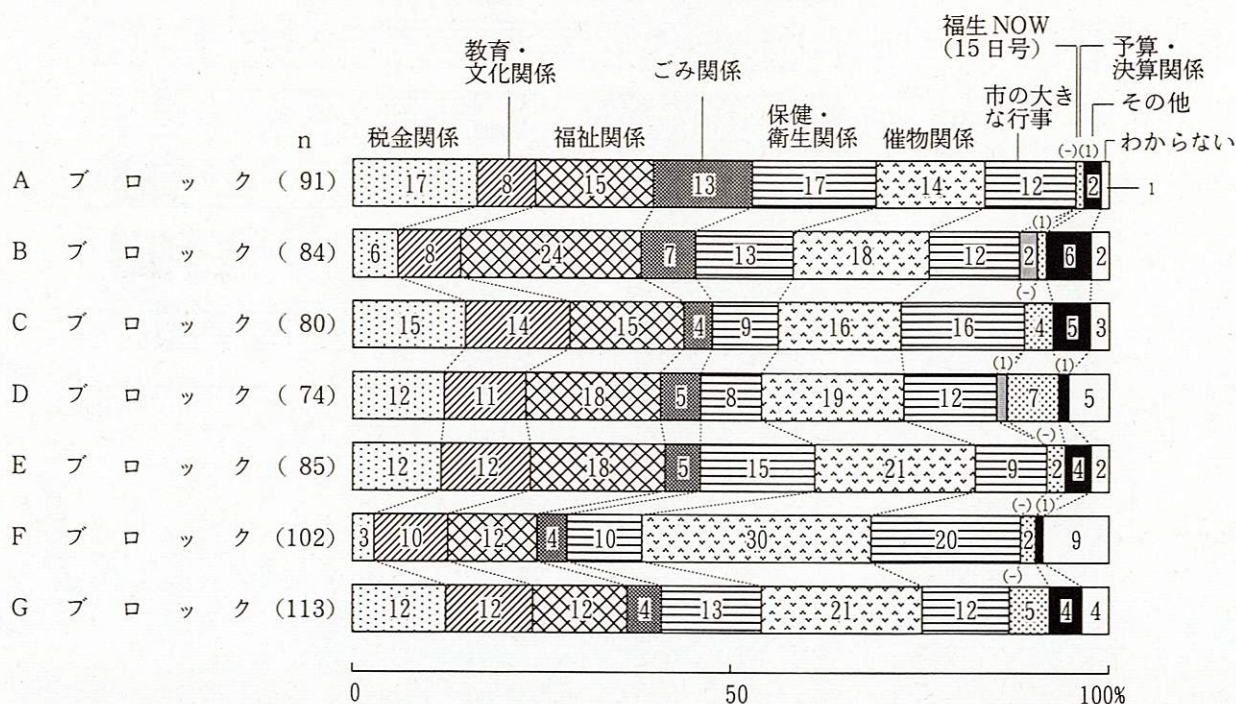
図11-6



次に『広報ふっさ』を“読む”と答えた人(629人)に主にどのような内容に関心を持って読むかたずねた。その結果、「催物関係」と答えた人が20%で最も高く、以下、「福祉関係」(16%)、「市の大きな行事」(13%)、「保健・衛生関係」(12%)、「税金関係」(11%)、「教育・文化関係」(11%)などと続いている。

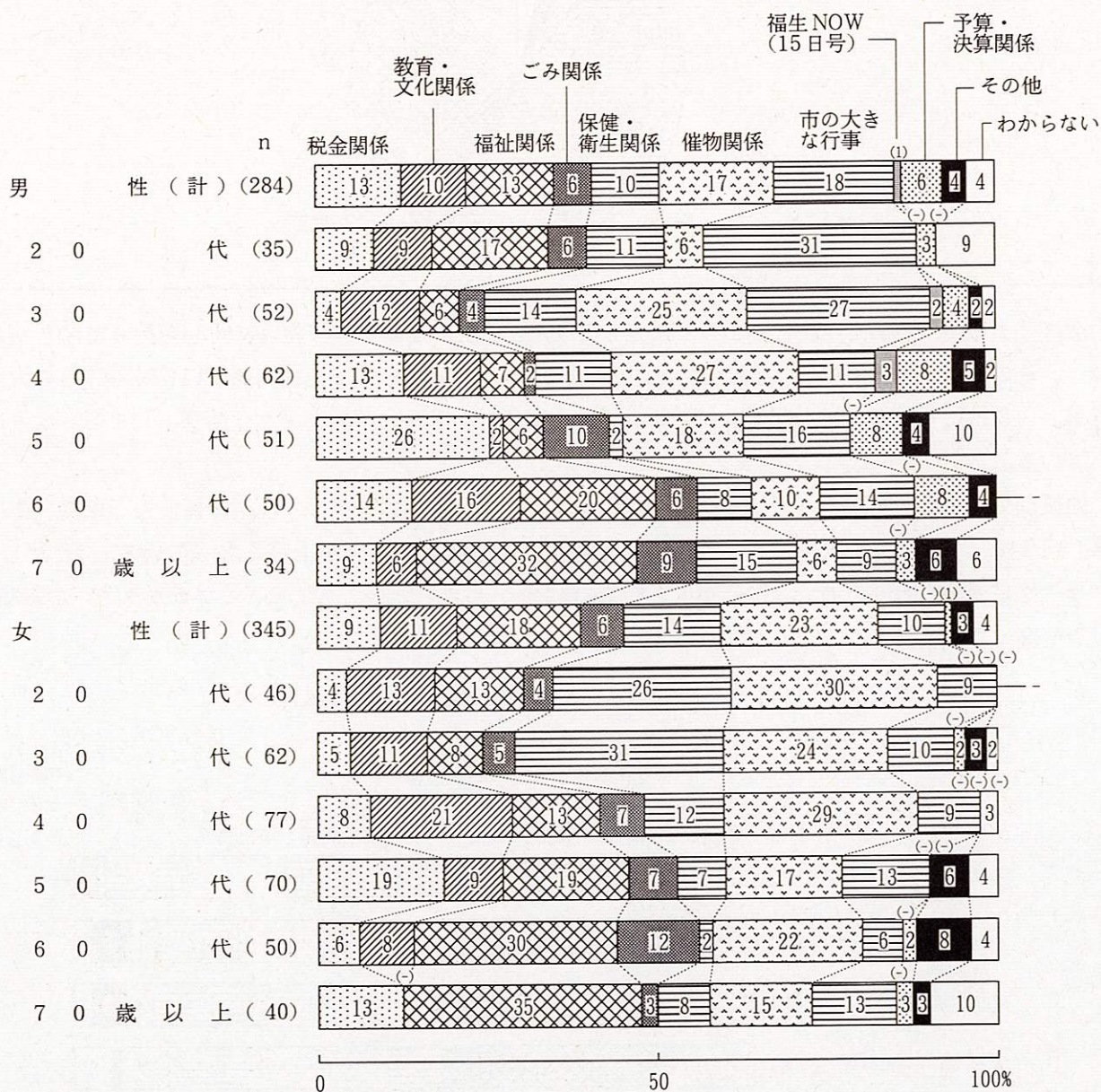
地域別でみると、Bブロックは「福祉関係」(24%)で、Aブロックは「税金関係」と「保健・衛生関係」(17%)で最も高くなっているが、他の地域では「催物関係」で最も高くなっている。(ただし、Cブロックについては「市の大きな行事」と同率。)また、目立ったところでは、Aブロックで「ごみ関係」がやや高くなっている。

図11-7 『広報ふっさ』で関心のある記事(地域別)



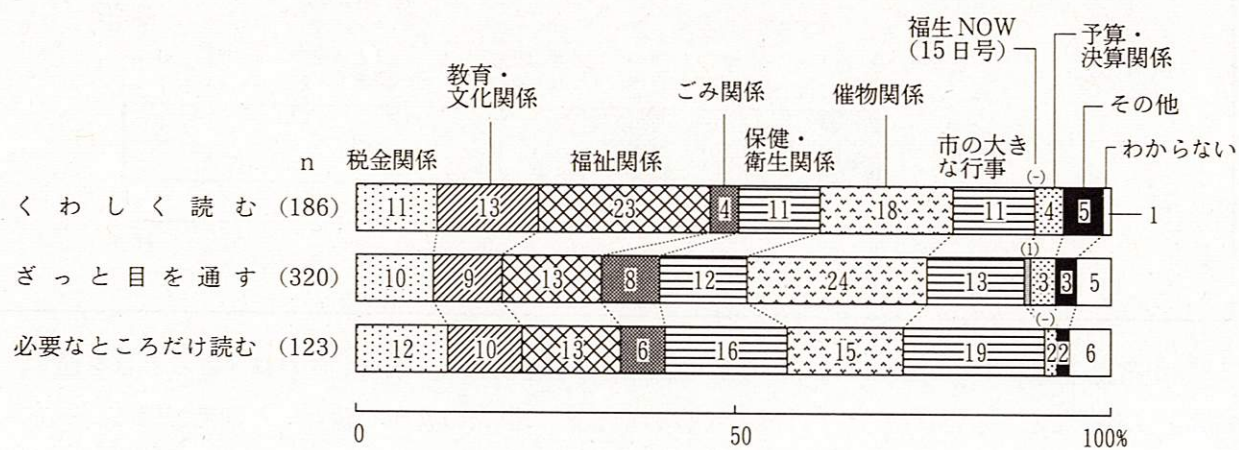
性・年代別でみると、男性の場合、20代及び30代においては「市の大きな行事」（20代31%、30代27%）、40代は「催物関係」（27%）、50代は「税金関係」、60代と70歳以上は「福祉関係」（60代20%、70歳以上32%）で最も高くなっている。一方、女性の場合、20代と40代が「催物関係」（20代30%、40代29%）で、30代が「保健・衛生関係」（31%）で、50代が「税金関係」と「福祉関係」（19%）で、60代と70歳以上が「福祉関係」（60代30%、70歳以上35%）で最も高くなっており、それぞれの性・年代によりばらつきがみられる。

図11-8 『広報ふっさ』で関心のある記事（性・年代別）



また、これを『広報ふっさ』の閲読度別にみると、くわしく読むと答えた人では「福祉関係」(23%)で最も高く、ざっと目を通す人では「催物関係」(24%)で、必要なところだけ読む人は「市の大きな行事」(19%)で最も高くなっており、読み方によって関心のある記事が違ってくるのがわかる。

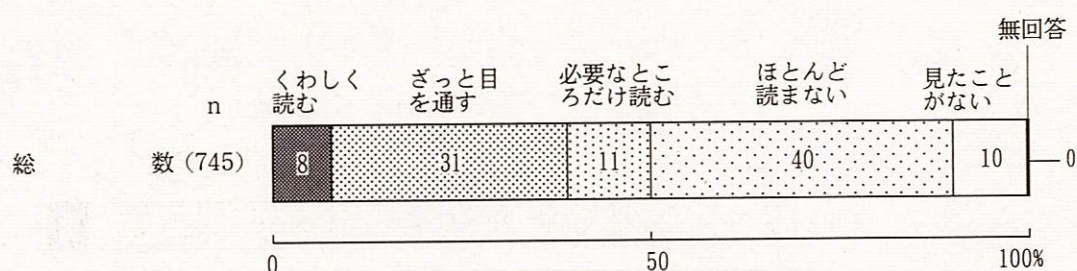
図 11-9 『広報ふっさ』で関心のある記事（『広報ふっさ』の閲読度別）



11-3 『福生市議会だより』の閲読度

問25 【回答票】あなたは、『福生市議会だより』をどの程度読んでいますか。

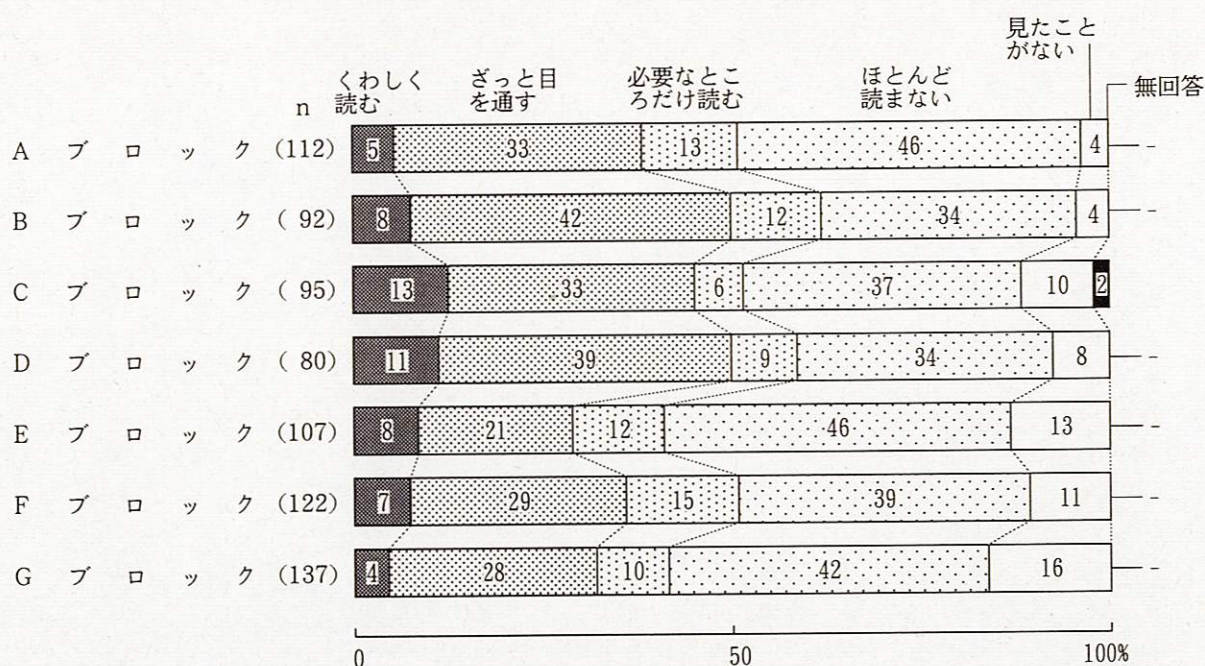
図11-10



『福生市議会だより』の閲読度は「くわしく読む」と答えた人が8%で、これに「ざっと目を通す」(31%)と「必要なところだけ読む」(11%)を合わせると、50%の人が“読む”と答えている。一方、「ほとんど読まない」(40%)と「見たことがない」(10%)を合わせた“読まない”でも50%を占めており、『広報ふっさ』の閲読度と違い“読む”と“読まない”が拮抗している。

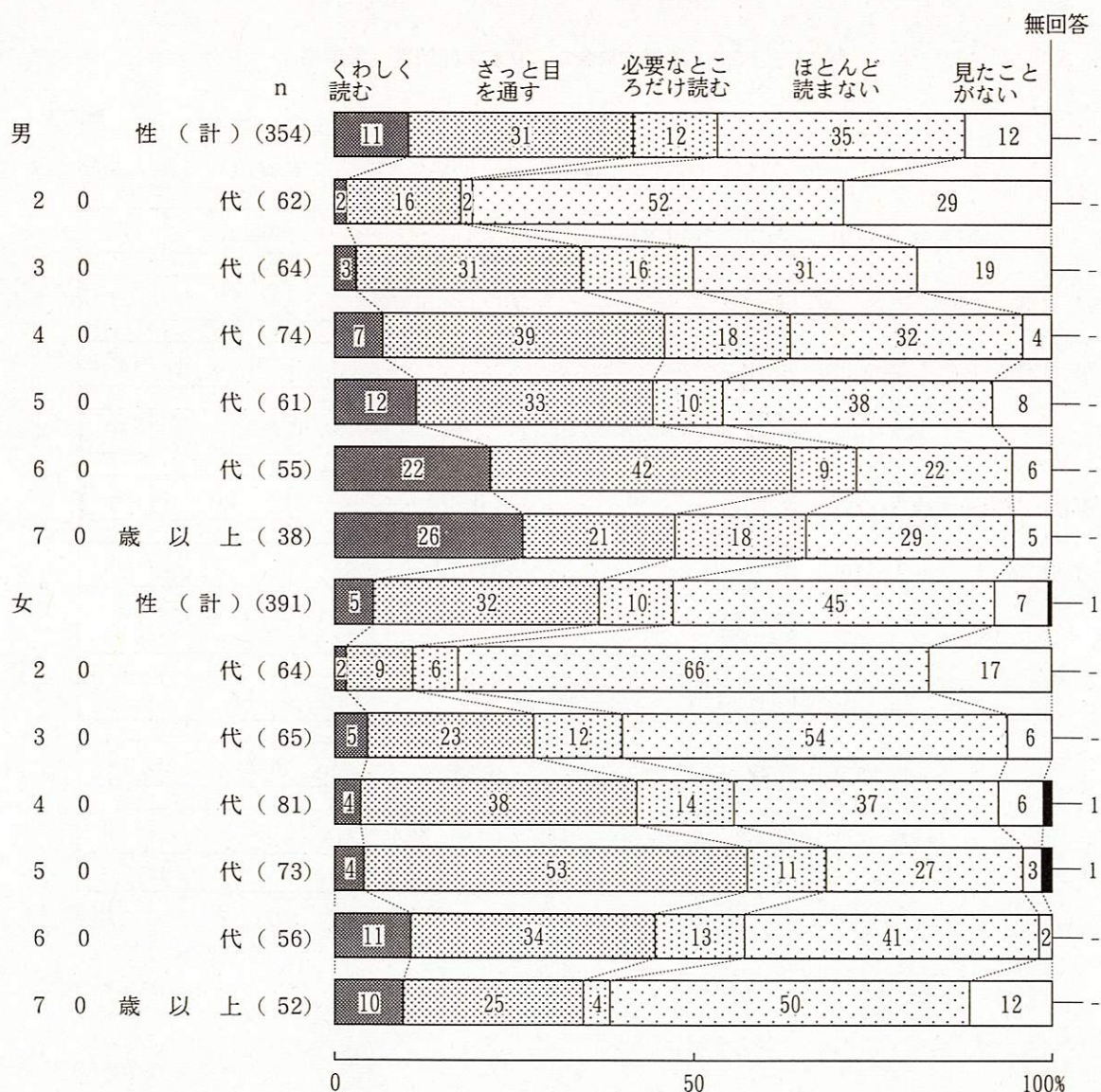
地域別でみると、“読む”人はBブロックにおいて6割を超え高くなっている。Eブロック及びGブロックでは、逆に“読まない”が約6割を占めており、“読む”を上回っている。

図11-11 『福生市議会だより』の閲読度(地域別)



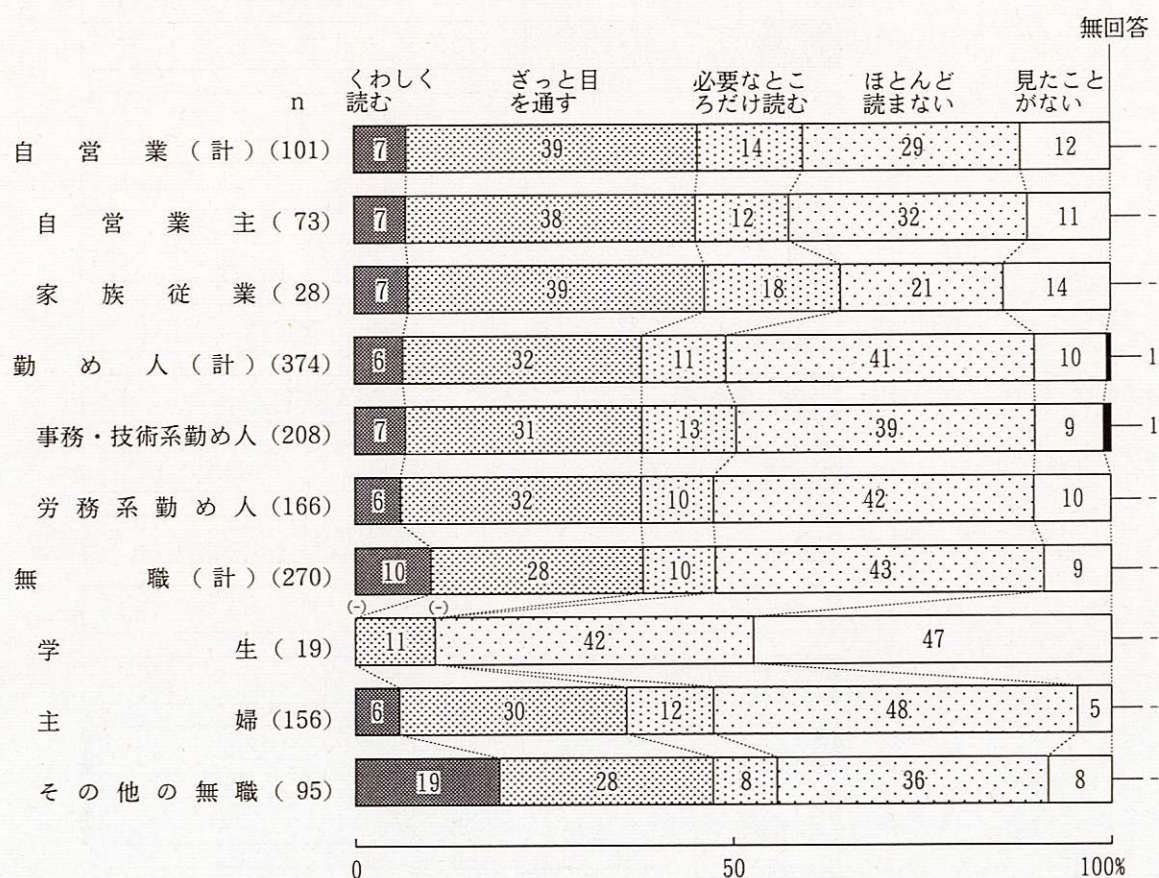
性・年代別でみると、男女とも20代及び女性の30代においては“読まない”が“読む”を上回っており、特に20代では“読まない”が8割を超え著しく高い。40代以降になると、“読む”が“読まない”を上回るようになるが、女性の70歳以上では“読まない”が62%となり再び逆転している。

図11-12 『福生市議会だより』の閲読度（性・年代別）



職業別でみると、自営業においては自営業主、家族従業とも“読む”が“読まない”を上回っている。勤め人では、事務・技術系において“読む”（51％）が“読まない”（48％）を上回っているが、労務系においては“読まない”（52％）が“読む”（48％）を上回っている。無職では、学生及び主婦において“読まない”（学生89％、主婦53％）が上回っており、特に学生は“読まない”が約9割を占め「くわしく読む」と答えた人は皆無である。また、その他の無職では“読む”（55％）が上回っている。

図11-13 『福生市議会だより』の閲読度（職業別）

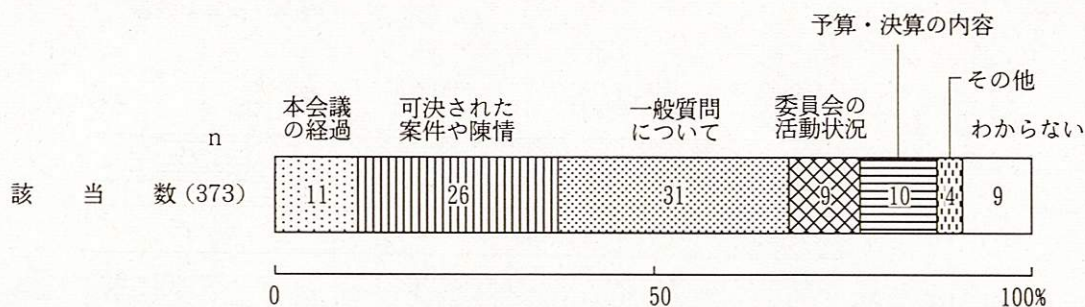


11-4 『福生市議会だより』で関心のある記事

(問25で「くわしく読む」「ざっと目を通す」「必要なところだけ読む」と答えた方に)

問25-1 【回答票】主にどのような内容に関心を持って読まれますか。

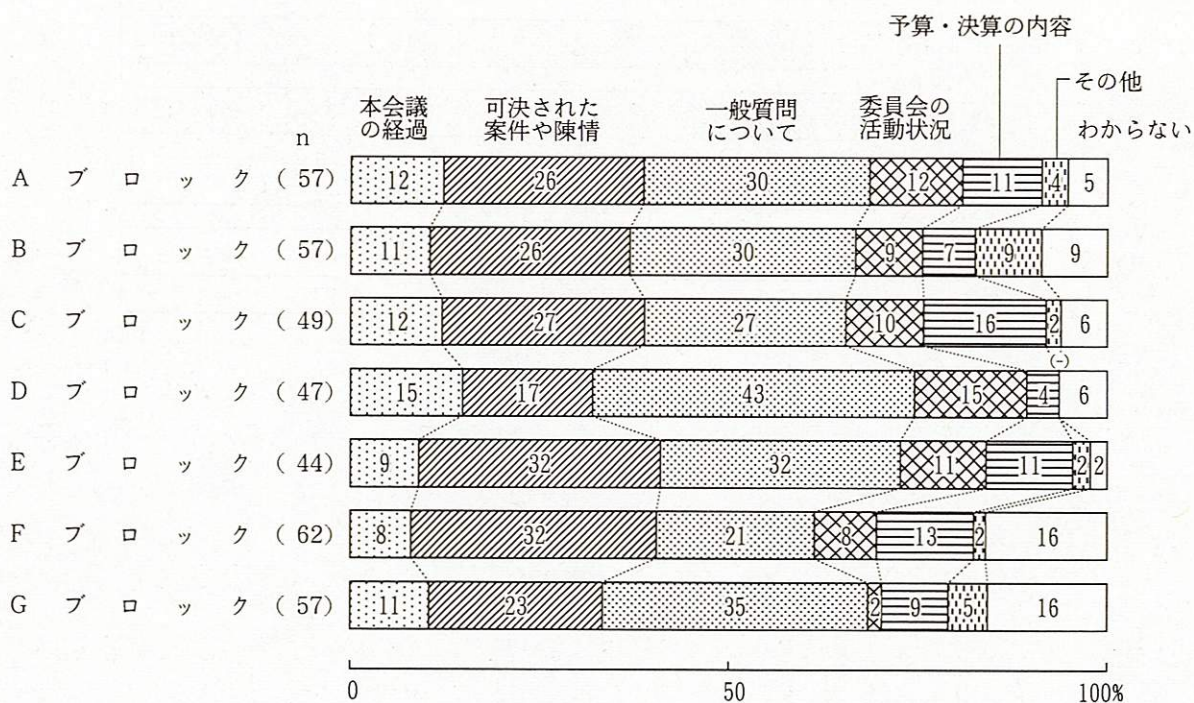
図11-14



『福生市議会だより』を“読む”と答えた人(373人)が関心を持って読む記事としては、「一般質問について」が最も高く31%を占めている。次いで「可決された案件や陳情」が26%となっている。

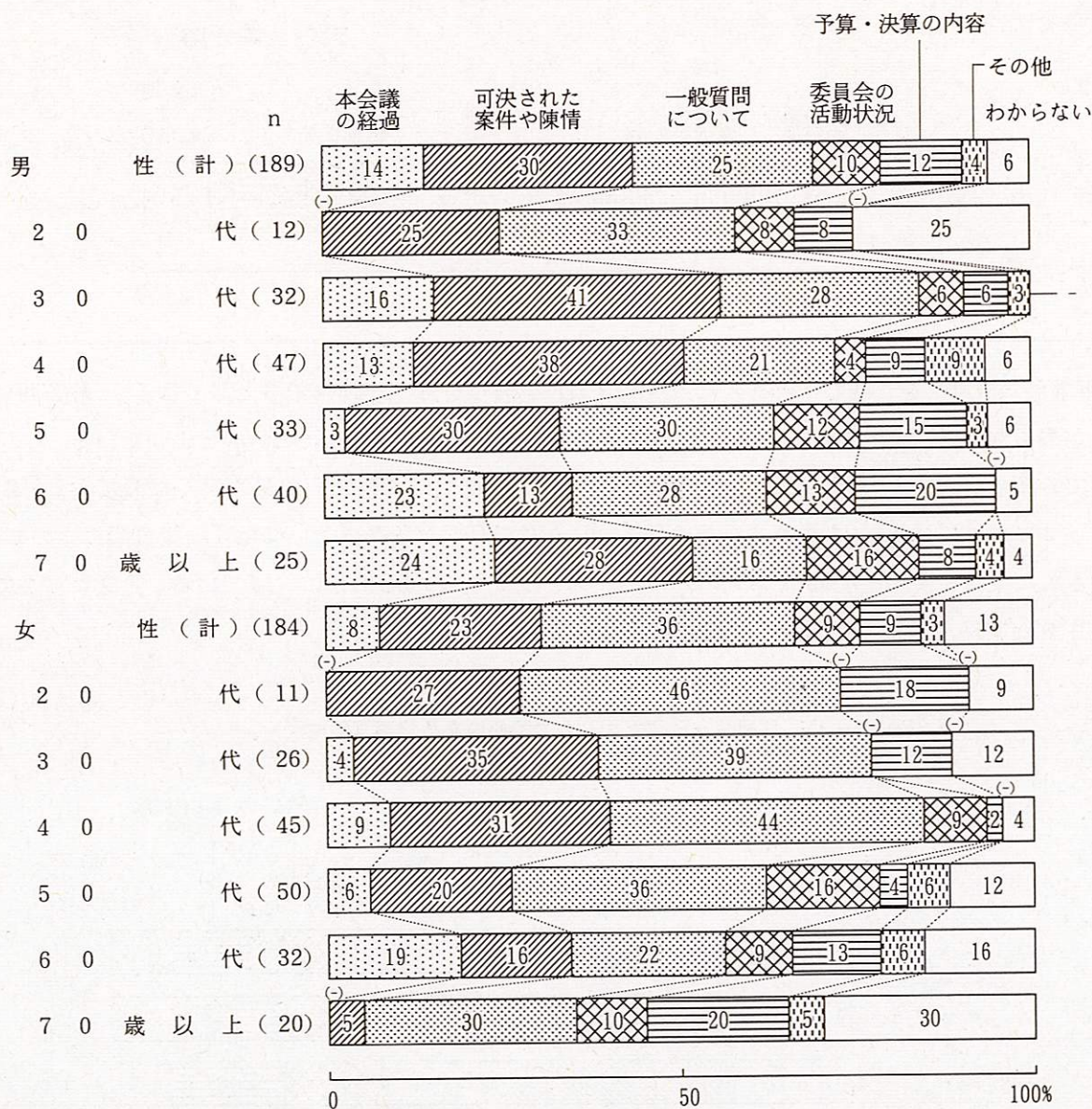
地域別でみると、A、B、D、Gブロックにおいては「一般質問について」で最も高くなっており、特にDブロックにおいては43%を占めている。Cブロック及びEブロックにおいては「一般質問について」と「可決された案件や陳情」で同率(Cブロック27%、Eブロック32%)になっている。Fブロックでは「可決された案件や陳情」(32%)で最も高くなっている。

図11-15 『福生市議会だより』で関心のある記事(地域別)



性・年代別でみると、女性の場合、全年代が「一般質問について」で最も高くなっているが、男性の場合、20代及び60代のみで高くなっており、他の年代においては「可決された案件や陳情」で最も高くなっている。（ただし、50代については「一般質問について」と同率。）

図11-16 『福生市議会だより』で関心のある記事（性・年代別）



『福生市議会だより』の閲読度別では、くわしく読むと答えた人とざっと目を通すと答えた人では「一般質問について」で最も高く、必要なところだけ読むと答えた人では「可決された案件や陳情」で最も高くなっている。また、くわしく読むと答えた人が「委員会の活動状況」で21%を占めており、他の読み方をする人より高い。

図 11 - 17 『福生市議会だより』で関心のある記事（『福生市議会だより』の閲読度別）

